

春が待ち遠しい季節。何して待とうか迷ったら、図書館へどうぞ。

Winter 2025

Special Issue

Topic.....

令和6年度先生の推し本のご紹介
先生方が学生のみなさんにオススメしたい本をご紹介します。

岡山キャンパス図書館のご紹介

吉備国際大学附属図書館

図書館だより

KIU Library News

★ 先生の推し本のご紹介 ★

★ 先生がどんな本に感銘を受け、影響を受けたのか。
★ ぜひ、読んでみて、みなさん自身で感じ取ってください。

アニメーション文化学科

平見勇雄先生の推し本

『読書の裏側 一千夜千冊エディション』

松岡正剛/著 KADOKAWA

2号館図書館所蔵 (019.9/Ma)



松岡正剛という名前を知っている学生がいたら、相当な読書家だと思います。世の中には読書家と言われる人はたくさんいます。村上春樹や有吉佐和子・・・先だって芥川賞を取った九段理江さんも。経済界、芸能人にも読書家は多く、元資生堂の社長だった福原義春氏、宇多田ヒカルさんなども有名です。もちろん佐藤優、立花隆、池上彰・・・数えたらきりがありません。

でもこの人以上に本を読んでいる人はいない。この本は彼がこれまで読んできた膨大な本の中で大切だと思う本の一部を紹介しているのですが、その数が半端ではない。しかも推薦する一冊の本の背後に相当数の関連ある本を紹介しています。この本を手にとると、自分がいかに無知であるかを思い知らされます。知の巨人という言葉がピッタリの人です。

文庫本にしては少々高いのですが、こういう人がいるということを知るだけでも大きな価値があります。

学生時代に何か夢中になるものを見つけることはとても大切です。何でもいい、人に負けにくい程度の何かを手に入れた人は必ずそれが自信につながります。刺激にもなります。

本は自分の世界を広げてくれます。是非手に取ってみてください。



※掲載の書影は出版社より許諾を受けたもののみ使用しております。転載・転用等をご遠慮ください。



アニメーション文化学科の平見勇雄先生は、こちらの本もオススメしてくれました！



『日本史を疑え』

本郷和人／著 文春新書 2号館図書館所蔵 (210.04/Ho)



高校までにみなさんも歴史を習ったと思います。歴史が好きだった人、そうでない人、いると思いますが、好き嫌い関係なく、面白く読んでいけます。年号がどうか、歴史は暗記科目の一つみたいに言われることがありますが、この本はそうではなく、なぜそういう事件や出来事が起こったのか、そのいきさつに中心が置かれていて、物事には何かしら背後に理由があることがわかります。偶然でも自然に起こったのではありません。なので本を読むと、歴史に対しての見方も変わるかもしれません。

また教科書で習ったことが、実は必ずしも正しいかどうかわからない、もしかしたらこの著者の言っていることが正しい・・・将来、歴史の一部は自分たちが学生時代に習った事実とは変わってしまうかもしれないと思うかもしれません。

著者はテレビにも出ている人です。騙されたと思って少しだけでも読んでみて下さい。

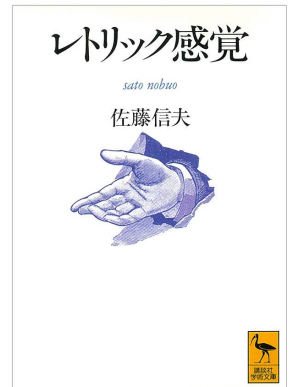
アニメーション文化学科

山本敦之先生 の 推し本



『レトリック感覚』

佐藤信夫／著 講談社学術文庫
2号館図書館所蔵 (G-1029)



『レトリック認識』

佐藤信夫／著 講談社学術文庫
2号館図書館所蔵 (G-1043)



言葉を無造作に使用して生きてきた人（多くの人がそうであるが）の、眼を見開かせる書物です。レトリックというのは、古代ギリシャに端を発し、古代ローマを経て、西ヨーロッパ文明にまで伝承されてきたリベラルアーツ7科目の1科。しかし西ヨーロッパ文明でも、近代以降、次第に軽視されるようになったものです。さらに日本では、その西洋文明導入で、科学技術に主眼があり、西洋以上にレトリックに対する意識が低いものでした。そのレトリック（の中の修辞部門の主要領域）を、現代の視点から再評価し、まとめたものがこれらの著作です。取り上げられた例文も、多くは魅力的な文藝作品から引用されたもので、これに対する著者の文章も秀逸。説得力のあることばづかい、魅力的なことばづかい、そして、発見的認識の造形への道が開かれています。



看護学科

太田泰子先生の推し本

『戦火のなかの子どもたち』

岩崎ちひろ/作・絵 岩崎書店

2号館ラーニングコモンズ所蔵 (376.159/Iw)

私がまだ小さいころ、第二次世界大戦を体験した方々のご存命で、ベトナムでは長い間戦争が続いていました。この絵本は、そのころ描かれて、多くの人に読まれてきた本です。いわさきさんは「戦争にいかなくても戦火のなかで子どもたちがどうしているのかどうなるのかよくわかる」(32ページ)と言っています。それは、「子どもは、あどけない瞳やくちびるやその心までが、世界じゅうみんな同じ」だからと伝えてくれます。今、インターネットやメディアで、戦争や災害の情報がまるですぐそこで起きてるように伝えられる今だからこそ、「絵本」で子供たちの人権について感じて考えることは大切ではないでしょうか。できれば、周りの人と対話してほしいな、すると……。



海洋水産生物学科

氷見英子先生の推し本

『マンガでやさしくわかるアサーション』

平木典子/著 星井博文/シナリオ制作 サノマリナ/作画

日本能率協会マネジメントセンター

南あわじ志知キャンパス図書館所蔵 (361.45/Hi)

頼まれたら嫌と言えずにストレスをためていませんか? 自分の考えや気持ちを言いたくても自分を抑え、結果として相手の言うことを聞き入れてしまっていないですか? 逆に、サークルやバイトの後輩に対してつい自分の意見を押し付けてしまうことはありませんか?

「自己表現」には3つの方法があります。上述したような「自分がガマンする」、あるいは「自分の言い分を一方向的に通そうとする」のはそれぞれ「非主張的自己表現」、「攻撃的自己表現」といいます。そしてもう1つが自分も相手も大切にしながら、自分の気持ちや考えなどを正直に率直に伝える「アサーティブな自己表現」です。

この本ではアサーティブな自己表現をするための考え方や取り組みが紹介されています。人は社会性の生き物であり、どんな場面でも対人関係やコミュニケーションは欠かせません。この本に書かれていることは一見簡単に見えますが、自分の気持ちや考え方のクセを明確に把握することは案外難しいものです。でも日常生活で意識することで確実に変わります。

アサーティブな表現が出来るようになると、自分も変わるし自分を取り巻く人間関係も変わります。思っていることを言えず、あとで自分にイライラしてしまう人は、是非読んでみてください。

この本はマンガで書かれた「初心者向け」の本なので、もっと詳しい内容を知りたい方は、「アサーション・トレーニング: さわやかな〈自己表現〉のために」平木典子著へのステップアップをお勧めします。



大西正泰先生の推し本



『働かないアリ 過労死するアリ

ーヒト社会が幸せになるヒント』

村上貴弘/著 扶桑社 2号館図書館所蔵 (486.7/Mu)

私の専門は「まちづくり」ですが、街の再開発も耕作放棄地再生も林業もあれやこれや全部「まちづくり」に入ってしまう。ですから、自分もちょくちょく何をやっているのか、わからなくなります。そんな時に、「迷子」にならないようにと、いつも心がけて読むのが「生物の世界」に関する本です。仮に、まちづくりも「巣作りの延長」だと考えると、生物たちと同じ目線で考えることができます。特に、昆虫の場合だと95万種もいて、全動植物の6割もいますから、とても参考になるのです。昆虫の中でも興味深いのが、日常生活でよく見る「アリ」です。今回皆さんにご紹介するのは、アリ語を研究している村上先生@九州大学の本です。村上先生は、2012年にどうやら「喋る」らしいことがわかったハキリアリや、キノコを栽培する「農業をするアリ」（キノコアリ）について研究している方です。そんなアリ研究者の村上先生が、いろんな「アリ社会」について書かれた本です。24時間働き続けるブラック企業サラリーマンみたいなアリもいれば、日の出の直前しか働かないアリなど、いろんな登場人物ならぬ登場アリが出てきます。とても読みやすい本なので、ぜひ一読を。

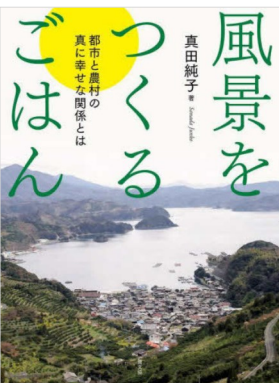


『新データで読む地域再生「人が集まる県・市町村」はどこが違うのか』

日本経済新聞社地域報道センター/編 日経BP 2号館図書館所蔵 (318.6/Ni)

この本は、「まちづくりの評価って、どうやってするの？」という問いかけに、日本経済新聞社の記者たちが回答した本です。東日本震災や、消滅自治体都市というセンセーショナルな言葉で危機を訴えかけた増田レポート以降、これまで以上にまちづくりを熱心におこなってきたわけですが、思ったように結果は出ませんでした。つまり、田舎の人口流出は変わらないし、東京への流入も変わらず。しかし、個別の指標で見ると、子育てに成功した自治体、観光で賑わっている自治体、人口が増えている自治体がありました。

これらの事例を集めたデータブックが、ご紹介する本の中身です。もし、自治体への就職を考えているならば、「人が集まる自治体の特徴」を知っているのと知らないのでは、全く異なる就職活動になると思います。故郷への就職のみならず、視線を広げてみると、1800近い自治体のいろんな事例を見ることは、とてもいい学びになるでしょう。公務員志望の人にはとてもおすすめの本です。



『風景をつくるごはん 都市と農村の真に幸せな関係とは』

真田純子/著 農山漁村文化協会 南あわじ志知キャンパス書館所蔵 (610.4/Sa)

徳島大学でとても面白い研究をしていた先生がいました。名前は真田先生と言って、皆さんも田舎に行くときよく見る「石積み」の研究者です。真田先生は、石積みの作る風景をこよなく愛している人で、石積みの仕方を学ぶ「石積み学校」まで作った人です。今回紹介するこの本は、石積みを含んだ「農村風景」がメインテーマです。さて、日本はとても災害が多い国です。ですから、命を守るために、危険と思われる風景がコンクリートで埋め尽くされました。災害とバランスの取れた農村風景をどう作るか、議論されてこなかったと言えるでしょう。端的に言えば、残念な風景づくりの歴史でした。

ひょっとしたら、もっといい方法やもっと風景を活かしたやり方があったかもしれない。その答えが、「石積み」のもたらす風景とそこから生まれる「食」にあると真田先生は教えてくれます。山間部での美しい石積みをおこなっているイタリアの事例（元々真田先生はイタリアがご専門）や日本での事例をもとに、いろんな「問い」を教えてください。例えば、住む場所の風景の美しさを伴わないまちづくりはどうでしょう？今全国各地で広がっている「太陽光パネルに侵食された風景」は、本当に「持続可能なまちづくり」にかなっているのでしょうか。とても読みやすい文章で、ドキュメンタリーとしてもオススメです。



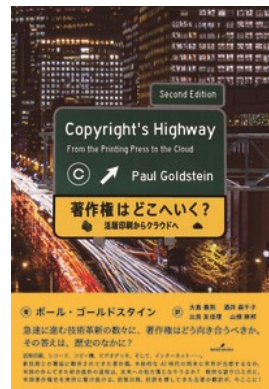
アニメーション文化学科

大谷卓史先生の 推し本

『著作権はどこへいく？ -活版印刷からクラウドへ』

ポール・ゴールドスタイン/著 大島義則/訳 勁草書房
2号館ラーニングコモンズ所蔵 (021.2/Go)

中学や高校でも「著作権」を学びますね。でも、著作権がどのように発展してきたのか解説はなかなか聞きません。本書は、1冊で著作権がどのように発展してきたか概観できます。従来は、数冊は本を読まないとわからなかったので、たいへんお得。ただし、推薦者と本書の著者では著作権に対するスタンスが違います。本書は、著作権は強ければ強い方がよいと考え、推薦者は作品から得られる社会とクリエイターの利益の「分け前」を考えながら著作権制度を設計すべきと考えます。こんな風に、どんな著作権思想があるか著作権思想の入門としても読めるのもお得かも。



『愛・セックス・結婚の哲学』

R・ハルワニ/著 江口聡・岡本慎平/監訳 名古屋大学出版会
2号館図書館所蔵 (152/Ha)

性愛や結婚は、人生にとって重要な要素です。30年以上前、哲学専攻の学生だった頃「大事な話なんだけどみんな照れちゃうんだよね」と先生方が話していたのですが、だいぶ状況が変わって、こうした問題を正面から扱う哲学書が相当に増えています。本書は豊富な先行文献に加えて、ゲイである著者の個人的体験も踏まえて、これらのテーマについて哲学的分析を加えます。分厚くて重量級の書物なので読み通すのがたいへんですが、気になる話題からどうぞ。著者の意見に賛成するよりも、手探りでも自分はこう考えるんだよなど考えるためのきっかけとなるとよいかな。



外国学科

高木秀明先生の 推し本

『関数電卓がすごい』

芝村裕吏/著 ハヤカワ新書
岡山キャンパス図書館所蔵 (418.6/Sh)



著者はゲームデザイナーであり作家です。本文は非常に読みやすいです。

各章のはじめに4行のまとめが書かれているので、読むのが楽です。電卓は、iPhoneやAndroidスマホに標準で搭載されている計算機アプリです。起動して画面を横長にすると関数電卓モードになります。このアプリには、アプリ内課金やパケットの送受信もありません。本書は数学の補習というよりは、中学高校の数学を短時間でリスクリングするため、あるいは暇つぶしの目的でも構わないと思います。

畝伊智朗先生の推し本

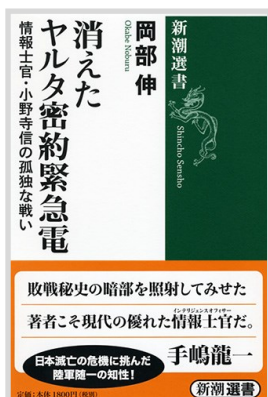
『成瀬は信じた道をいく』

宮島美奈/著 新潮社

2号館図書館所蔵 (913.6/Mi)



2024年本屋大賞を受賞した、宮島美奈の話題作『成瀬は天下を取りにいく』の続編です。前作では、成瀬と幼友達の島崎が織りなす青春ドラマでしたが、本作では、成瀬は、高校生から、大学受験を経て、京都大学の学生になりました。成瀬と島崎を慕う小学生、成瀬の受験を見守りながら不安が解消しない父親など新しいキャラが登場し、成瀬あかりの生態または行動を描写します。5話で構成されています。第5話「探さないでください」は、推理小説を思わせる成瀬の失踪劇です。最初から最後まで、「えっ!」「ありえないな!?!」と思いつつ、爆笑することが多く、あっという間に完読できます。勉強に疲れた時、読むことをお勧めします。



『消えたヤルタ密約緊急電』

-情報士官・小野寺信の孤独な戦い-

岡部伸/著 新潮選書 2号館図書館所蔵 (391.6/Ok)

第2次世界大戦の舞台裏で繰り広げられた「インテリジェンスの争奪戦」を学ぶための良書。日露戦争でインテリジェンスの重要性を認識したはずの帝国陸軍が、その後インテリジェンスを軽視したのはなぜだろうか、そのために多くの方々が亡くなられたという問題意識を私がもち、各種著作を読み進める中で遭遇した1冊です。日本現代史、戦史、インテリジェンスに関心のある学生には、must readと思います。

1945年2月、米英ソの連合国首脳は、ソ連のクリミア半島にあるヤルタに集まり、戦争後の体制などを協議している。その中で、ソ連の対日参戦を盛り込んだ「極東密約」（重要点は、「ドイツが降伏してから3ヶ月後にソ連は対日参戦する」）が締結されているが、極秘中の極秘とされ、米国ではトルーマン副大統領ですら、大統領に就任するまで知らされていなかった。1945年5月7日ドイツは無条件降伏した。その3ヶ月後の8月8日、ソ連は日ソ不可侵条約を破棄し、満州・モンゴル国境を越えて170万人のソ連軍が侵攻した。その結果、日本側の将兵8万人、民間人25万人が犠牲になり、60万人以上が捕虜となり、シベリアなどに抑留された。

歴史には「もし」はないと言われているが、当時の日本政府上層部が、ヤルタ密約、要はソ連の対日参戦を早めに知っていれば、スターリンに依頼して和平交渉をする愚を犯さなかった。戦争継続を早々に断念したはずである。全土が焦土となる爆撃を受けることもなかった。原爆が広島、長崎に落とされることもなかった。

ヤルタ会談が終わって時を経ず、ヤルタ密約を掴んでいた日本の情報士官がいた。スウェーデン日本公使館武官、小野寺信である。小野寺は、電報が解読されていた外務省の公電を使わず、陸軍の暗号電を使い、帝国陸軍参謀本部に送っている。電報を送ったにもかかわらず、日本は何も変わらなかった。日本の命運を負った極秘電報は参謀本部でどうなったのか? その疑問に対し、著者の岡部氏は、公開された英国のインテリジェンス情報（当時の日本の暗号電はほとんど傍受され解読されていた）を駆使して、そして、小野寺の家族を含む関係者への取材を通じて、多角的にそれを明らかにしていく。500ページ近い大著ですが、畳みかけるような展開に引き込まれます。壮大な調査研究の成果である。

岡山キャンパス図書館ってこんな場所なんです。

吉備国際大学の岡山キャンパスは、岡山駅から1駅でアクセスできる大元駅から徒歩10分の場所にあり、外国語学部の学生のみなさんが勉学に励んでいるキャンパスです。

岡山市の中心部にあり、アクセスも良好なので、他県からも多くの学生が通学しています。そんな岡山キャンパスにも図書館があるのはご存知ですか？



この木の
佇まいが
落ち着く。



海外小説や
話題の本も
あるよ！

岡山キャンパス図書館は、岡山キャンパス3号棟2階の自修道場（学生のみなさんが自由に学習できるスペース）の隣にあります。木のぬくもり溢れる学修空間となっており、居心地の良さも魅力の一つです。

主に英語・言語学・社会科学系の外国語学部に対応した図書をはじめ、外国文学作品等の文芸書も所蔵していますので、読みたい作品を探してみてください。思いもよらない本との出会いがあるかもしれません。

岡山キャンパス図書館には図書のほかに、雑誌・視聴覚資料も所蔵しています。

雑誌では、岡山県の最新情報がわかるタウン情報誌がオススメです。学校帰りに行きたいカフェに迷ったら、タウン情報誌で探してみるのもいいですよ。

また、視聴覚資料は、海外ドラマや洋画等、大ヒットした懐かしい作品を館内で視聴することができます。授業の合間にぜひご利用ください。



映画鑑賞も
オススメ！



勉強以外にも
気軽に
利用してね！

吉備国際大学附属図書館は、高梁・岡山・南あわじ志知の3キャンパスと連携しており、他キャンパスから資料の取り寄せもできますので、ご希望の方は、図書館カウンターで申込をしてください。

また、必要な資料が図書館に見当たらない場合は、リクエストすることも可能です。まずは、図書館スタッフに、お問い合わせください。

図書館は、所蔵資料を求めて来館することはもちろん、静かに学修したいとき、授業の合間時間をゆっくり過ごしたいとき等、お気軽にご利用ください。図書館ハロウィンやおみくじ・絵馬企画等、季節ごとに利用者のみなさんに楽しんでいただけるような企画を準備してお待ちしています！ぜひ、図書館をご利用ください！



図書館は、知識の森。

吉備国際大学附属図書館

あなたの探しているものが、きっとある。

どこに何があるの?!



4館のご案内



高梁キャンパス 2号館図書館	高梁キャンパス 2号館ラーニングcommons	岡山キャンパス図書館	南あわじ志知キャンパス図書館
(和書) 心理・社会科学・保健医療・福祉・経済・法律・技術・芸術・美術・一般・教育関係 ※洋書はありません。	(和書・洋書) 心理・芸術・美術・アニメーション関係 2号館分野の洋書	(和書・洋書) 英語・社会科学関係	(和書・洋書) 農業・植物・園芸・醸造・発酵 水産関係
文庫本 新着雑誌 学術研究紀要	視聴覚資料 雑誌製本 雑誌のバックナンバー	視聴覚資料 新着雑誌・雑誌製本 絵本(洋書のみ)	視聴覚資料 新着雑誌 雑誌製本
 社会科学部・看護学部 人間科学部対応 ※令和5年度以前の心理関係の図書は、2号館ラーニングcommonsに配架。	 アニメーション文化学部対応 ※令和5年度以前の心理関係の図書も配架しています。 ※洋書・雑誌類は全学部対応	 外国語学部対応	 農学部対応

図書館は、無限の空。

吉備国際大学附属図書館

図書館Q&A

みなさんの疑問にお答えします!!

その他にも分からないことがあれば気軽にスタッフに聞いてね!

本はどうやって探すの? 図書の背ラベルの分類番号ごとに置く場所が分かれています。蔵書検索をして、背ラベルを確認してみてください。	雑誌は貸出できますか? 雑誌は貸出できません。 著作権の範囲内でコピーできます。申込書を記入してカウンターで申し込んでください。	実習用に図書を借りたい! 実習中の長期貸出は可能です。(※本学学生に限る) 貸出の際に、実習期間の分かる資料を提示してください。	なぜ貸出禁止の資料があるの? 辞書や百科事典は、調査・研究の参考資料として多くの方が利用するため貸出禁止です。 館内閲覧は可能です。ご利用ください。	読みたい本が図書館にない! 学習や趣味のために必要な本をリクエストできます!!「学生リクエスト本記入票」をご記入の上、申し込みをしてください。購入を検討します。 ※購入まで一カ月前後かかります。
貸出期間を延長したい! 同じ本を続けて借りたいときは、学生証と延長希望の図書を持参すれば、継続貸出できます!継続貸出は2回までです。※予約されている図書は継続貸出できません。	開館日を知りたい! 図書館ホームページやユニバーサルパスポートにて、開館カレンダーを公開しています。 館内にも掲示しています。	課題をプリントアウトしたい! 課題のプリントアウトは、貸出用ノートPCを利用すれば、プリントアウト可能です。 ※コピー用紙は持参してください。申込には学生証が必要です。	ノートのコピーはできますか? 私物のコピーはできません。著作権法により、図書館内でのコピーは、館内資料に限られます。プリント・ノート等の私物は館外のコピー機をご利用ください。	館内の温度を調節してほしい! SDGsの取り組みの一環として夏は27℃、冬は20℃の温度設定になります。ご協力よろしく願います。
インターネットを利用したい! 貸出用ノートPCはインターネットを利用できます。(※利用のためには個人のID・パスワードが必要です。)文献検索は、蔵書検索端末でも利用可能です。	DVDを鑑賞できますか? 2号館ラーニングcommons・岡山キャンパス図書館・南あわじ志知キャンパス図書館で、利用できます。平日9時~17時まで利用可能。申込は16時までをお願いします。申し込みには学生証が必要です。※持込資料は原則不可	飲食可能な場所がありますか? 2号館ラーニングcommonsでは軽食が可能です。 ○可能 ・ふた付き飲料 ・軽食 ・こぼれないもの ×禁止 ・箸やフォーク等を利用するもの ・臭いが強いもの ・汁物の食事は原則不可	ラーニングcommonsって何? グループで話し合いをしながら、学修できるスペースです。もちろん個別学修もできます。視聴覚資料の利用や、軽食も可能です。ぜひご利用ください。	他大学の図書館を利用したい! 図書館によっては事前申し込みが必要な場合があるため、まずは、本学図書館カウンターまで申し出てみてください。(平日9時~17時)